

平成29年9月22日

大府市立小中学校長 様

大府市教育委員会  
教育長 宮 島 年 夫

## 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について（通知）

このことについて、平成29年9月12日付け号外で知多教育事務所長より、各小中学校長宛に依頼があったところです。そこで、大府市の小中学校におかれましては、子どもたちへの周知をするとともに、この通知文を危機管理マニュアルに差し込んでいただくようお願いいたします。

### 1 「Jアラート」を活用した緊急情報が発信された場合

ミサイルが日本に向けて発射された場合は、「Jアラート」を通じて防災無線等でサイレン音とともにメッセージが流れる。メッセージが流れた場合、落ち着いて直ちに次の行動をとるようにする。

#### (1) 登校前

ア 安全が確保されるまで、登校を見合わせる。

イ 着弾せず通り過ぎた場合、通過や海への落下を「Jアラート第二報」にて確認後、登校する。

#### (2) 登校中

ア 屋外にいることが考えられるが、近くの建物の中に移動する。

イ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せ頭部を守る。

ウ 着弾せず通り過ぎた場合、通過や海への落下を「Jアラート第二報」にて確認後、登校する。

エ 子どもたちの登校後に、子どもたちの状況を把握し、保護者向けに学校ごとにメルマガを流す。

#### (3) 登校後

ア 学校の指示に従って、建物の中に入り、できるだけ窓から離れ、机の下などに隠れ、身を低くする。

イ 着弾せず通り過ぎた場合、通過や海への落下を「Jアラート第二報」にて確認後、子どもたちの状況について、学校ごとにメルマガを流す。

### 2 ミサイルが着弾した場合

「Jアラート」にて直ちに避難することの呼びかけがあるので、落ち着いて次の行動をとるようにする。

(1) 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から離れ、気密性の高い屋内または風上に避難する。

(2) 屋内（教室）にいる場合は換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

(3) 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、「Jアラート落下推定情報」に基づき、落ち着いて行動をとるようにする。

(4) テレビ、インターネット等を通じて情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、行動をとるようにする。

(5) 着弾した場所・種類・時間帯などに応じて、保護者にとって必要な情報（子どもたちの状況・休校の判断など）を、市教育委員会と校長会で協議の上で各学校からメルマガを流す。